〈わくわくタイムの取組〉

（１）ねらい

異学年での運動遊びを通し，全校の豊かなかかわりを深める。６年生をリーダーとして児童が主体的に活動できることを目指す。

（２）活動時間等

・第１火曜日　１０：３５～１０：４５（１０分間）＋前後２分程度で確認とふり返り
・教師は場所に張り付きとし，遊びをリードしながら活動を見守る。
・５/８（火）第１回目の活動について→・６年生が１年生を迎えに行く。
・５年生が２年生を迎えに行く。
・３，４年は各児童で活動の場所に行く。

（３）活動の流れ

・集合，出欠と活動内容の確認（教師主導からスタートし，リーダーの実態に応じて，児童主体の活動に）
・主活動（１０分間）
・振り返り，次活動への見通し

（４）実施した活動と活動場所

班・担当		場所	活動（例）
１・14	小笠原（七）	体育館東，左半分	ターザンロープ
２・15	川野	体育館東，右半分	ふうせん遊び・・・必要な数準備
３・16	永橋	運動場東うずまき	うずまきじゃんけん
４・17	大槻	鉄棒周辺	遊具遊び（雲梯，ブランコ，鉄棒）
５・18	播磨	運動場鉄棒前	かけっこ，折り返しリレー
６・19	山本	運動場中コート①	ボール遊び（ドッジボール，サッカー系，他）
７・20	佐古田	砂場	幅跳び遊び
８・21	高石	バスケットボールコート	縄とび（大縄・短縄）・・・放送室前の棚
９・22	刈谷	三角屋根・タイヤとび周辺	おに遊び（増えおに，ことりおに，他）
10・23	濵田	運動場中コート②	ボール遊び（ドッジボール，サッカー系，他）
11・24	藤﨑	運動場西ベンチ前	しっぽ取り・・・放送室前の棚
12・25	柳瀬	運動場野球フェンス周辺	縄とび（大縄・短縄）・・・放送室前の棚
13・26	鍵山	体育館ステージ側	ドッジビー・・・体育館器具庫に巾着袋

※見﨑，峯田，岡村はクローバーの子どもたちと同じ班とする。
※小笠原(駿)…フリー
※岡﨑…全体監督

（５）教員のアンケート結果から

〇子どもたちの様子

・低学年は楽しそうに活動できていた。高学年は低学年のお世話をしながら一緒に楽しむ姿がみられた。
・掃除以外の時間に異学年同士で交流することがあまりないので，楽しそうに活動することができていた。
・とても楽しみにしている様子がみられた。
・6 年生がしっかり下級生に指示できていた。

〇活動の良かった点・改善するとよい点

・ターザンロープ⇒楽しくいきいきとやっていた。
・ふうせん遊び⇒学年をこえて楽しく活動できていた。
・遊具遊び⇒握力を鍛えることができる。高学年になると積極的に取り組めないイメージはある。
・うずまきじゃんけん⇒休み時間も夢中になるほどやっていた。
・かけっこ，折り返(かえ)しリレー⇒内容がわかりやすく，取り組みやすい。
・ボール遊び（ドッジボール，サッカー系，他）⇒　活動から帰ってくると「楽しかった。」と言っていた。

・幅跳び遊び　⇒意欲的に何度も挑戦していた。準備，片づけに意外と時間がかかり，活動時間を超えてしまうことがほとんどであった。方法を見直すか，簡単にできる内容に変更してもいいのではないか。
・縄とび（大縄・短縄）⇒楽しそうに活動していた。学年にかかわらず一緒に楽しむことができる。
・おに遊び（増えおに，ことりおに，他）⇒楽しく活動できていた。
・しっぽ取り　⇒班全員が走り回って，楽しく活動できている。上級生が作戦を考えて声がけできていた。班対抗にしたり，ルールを変えたりして，色々な楽しみ方ができる。
・ドッジビー⇒うまくできなくても，異学年でペアになり，楽しく活動することができた。安全面から，やり方を見直す必要があるかもしれない。

〇その他
・どの種目も体全体を使う活動なのでよい。
・1 年担任は児童の移動を確認してから担当場所に行くことが多くなったため，担当の活動の準備・指示が遅くなってしまうことがあった。
・遊びによって，楽しいか楽しくないか子どもたちの様子に差がみられた。
・集合場所がわからない低学年がいた。

（6）考察
・長年，継続していたたてわり班メンバーでの異学年児童による遊びの活動は種目の設定によって，助け合いや教え合いといったかかわりのよさを見ることができた。今後，遊びの種目の工夫が課題である。
・集合から活動，まとめまで 15 分足らずと限られた時間で実施していく上で活動のパターン化を図るとともに準備，片付けの容易な遊びを工夫していく必要がある。
・20 分休み前後に 1 年生の水泳の学習時間が入るので，着替えや移動の時間が厳しかった。

（7）活動の様子